

平成22年度  
モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度  
泉大津市上條小学校 実施結果概要

（様式 3-2：実施結果報告書）

実施結果報告書

1. テーマ：地球温暖化防止			
2. 実施教科：総合的な学習の時間			
3. 関連単元：国語科「ゴミってなあに」、社会科「自動車工場」			
4. 実施授業時数：18時間			
5. 学年・クラス	5年生	6. 児童数	118名
7. 実施内容			
<p>国語の「ゴミってなあに」を切り口として、環境問題を切り口に、総合的な学習の時間で地球温暖化問題について考えることにした。</p> <p>具体的には、まずゴミを題材として、大阪市港湾局の職員によるゴミ処理についての出前授業を実施し、ゴミが地球環境問題に影響があることを勉強した。</p> <p>さらに、発展させて地球温暖化問題を取り上げ、大気汚染調査キットを使い、校区の千大気汚染状況を調べ、マップを作成した。</p> <p>また、社会科の「自動車工場」に関連させてダイハツ自動車の工場見学を行い、様々な自動車があることを学習した。さらに、大阪府や近畿運輸局、トラック事業者、バス事業者の協力を得て、校庭に電気自動車やディーゼル車、天然ガス自動車などを集め（クルマ大集合）、排気ガスの測定調査を行い、クルマの種類によって排気ガスの違いがあることを学習した。バス車両については、車いす利用時を含めた乗降方法も学習した。</p> <p>さらに、家庭での電気の使用状況なども調べ、普段の生活が地球温暖化に影響していることを学習し、生活の中で交通も含めた地球温暖化防止活動をグループごとに考え、発表させることにより、地球温暖化防止への意識を高めさせることができた。</p>			

8. 学習のながれ：

6～8月

1. 事前学習

環境問題について知ることにより、地球には様々な環境問題があることを知る

10月

2. 大気汚染について

身近な場所に大気汚染物質があることを知る

3. 港湾（津波・高潮について）

津波や高潮といった自然災害を知るとともに、港湾が自然災害を防ぐ役割を知る。

12月

4. ダイハツ工場見学

工場では様々な工夫をされた自動車がいろいろと作られていることを知る。

1月

5. クルマ大集合での排ガス実験

自動車によって出てくる排気ガスの違いを知る。また、バスの乗降方法を知る。

6. 電気の利用実験

家庭での電気の利用状況を知る。

2月

7. グループでの発表準備

これまで調べてきたことと、今後どのように地球温暖化を防ぐことができるかグループで考え発表する準備をする。

3月

8. まとめ、発表

グループで考えたことをそれぞれ発表する

※指導計画書や学習で使用した教材、学習風景を撮影した写真、児童の作品などを添付して提出してください。